

Cisco Business 350スイッチのMACベースのVLANグループ

目的

この記事では、スイッチでMACベースグループを設定する方法について説明します。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBS350 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-2X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-4X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))

概要

仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)を使用すると、ローカルエリアネットワーク(LAN)を論理的に異なるブロードキャストドメインにセグメント化できます。機密データがネットワーク上でブロードキャストされるシナリオでは、特定のVLANにブロードキャストを指定することでセキュリティを強化するためにVLANを作成できます。VLANに属するユーザだけが、そのVLANのデータにアクセスして操作できます。また、VLANを使用して、ブロードキャストやマルチキャストを不要な宛先に送信する必要性を減らし、パフォーマンスを向上させることもできます。

複数のプロトコルが実行されているネットワークデバイスを共通のVLANにグループ化することはできません。特定のプロトコルに参加しているデバイスを含めるために、異なるVLAN間でトラフィックを渡すために非標準デバイスが使用されます。このため、ユーザはVLANの多くの機能を利用できません。

VLANグループは、レイヤ2ネットワーク上のトラフィックのロードバランシングに使用されます。パケットは異なる分類に基づいて分散され、VLANに割り当てられます。さまざまな分類が存在し、複数の分類方式が定義されている場合、パケットは次の順序でVLANに割り当てられます。

- Tag : タグからVLAN番号が認識されます。
- MACベースのVLAN:VLANは、入カインターフェイスの送信元Media Access Control(MAC)からVLANへのマッピングから認識されます。
- サブネットベースのVLAN:VLANは、入カインターフェイスの送信元サブネットとVLANのマッピングから認識されます。この機能を構成する方法については、[ここをクリックして手順を参照してください](#)。
- プロトコルベースのVLAN:VLANは、入カインターフェイスのイーサネットタイプのProtocol-to-VLANマッピングから認識されます。
- PVID : ポートのデフォルトVLAN IDからVLANが認識されます。

MACベースのVLAN分類では、送信元MACアドレスに基づいてパケットを分類できま

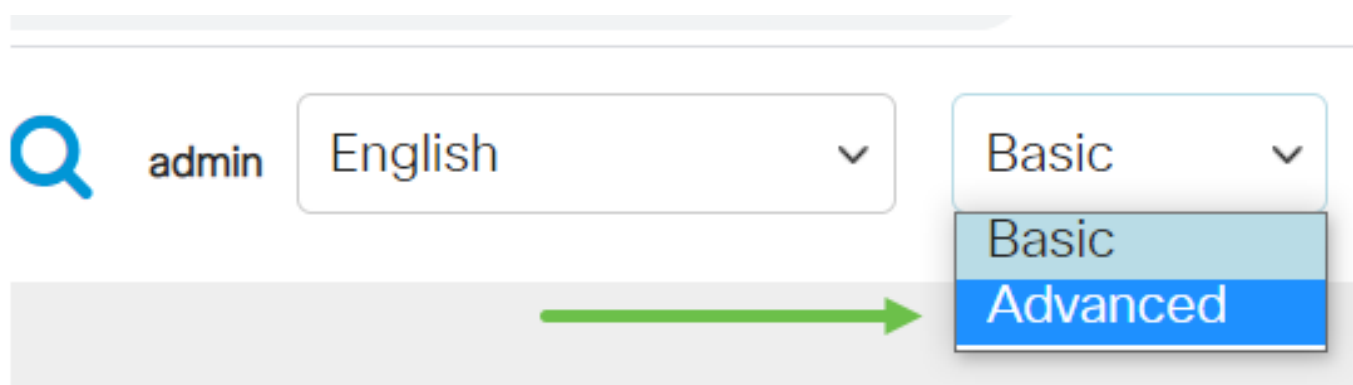
す。その後、インターフェイスごとにMACからVLANへのマッピングを定義できます。また、複数のMACベースのVLANグループを定義することもできます。これらのグループには、異なるMACアドレスが含まれています。これらのMACベースのグループは、特定のポートまたはLAGに割り当てることができます。MACベースのVLANグループには、同じポート上のMACアドレスの重複する範囲を含めることはできません。

スイッチでのMACベースのVLANグループの設定

MACベースのVLANグループの追加

手順 1

Webベースのユーティリティにログインし、[表示モード]ドロップダウンリストから[詳細]を選択します。



手順 2

[VLAN Management] > [VLAN Groups] > [MAC-Based Groups]を選択します。

